

本の福袋

図書館スタッフがテーマごとに選んだ本2冊を中身が見えないように包み、貸し出します。どんな本が入っているかは、借りてみてのお楽しみです。

日時 1月5日(金)～なくなり次第終了
場所 3階一般・児童展示コーナー
種類 幼児、児童、一般(各25袋)、ティーンズ(10袋)

図書館で書初めをしよう!

好きなお手本を選んで書初めをします。

書いたものは後日、図書館内に掲示します。

日時 1月6日(土) 午前10時～正午、午後1時～3時
場所 4階図書館グループ学習室
対象者 小学生
持ち物 書道用具(汚れてもよい服装でご来館ください)
定員 当日先着順
(1度に4人まで。満席の場合は先着順で予約を受け付けます。)

新年わらべうたのおはなし会

絵本の読み聞かせやわらべうたで手遊びをします。

新年スペシャルとしてかるた取り大会を行います。

日時 1月7日(日) 午後2時～
場所 3階図書館おはなし広場
対象者 幼児、小学校低学年

バリアフリー上映会

上映作品「ねぼけ」

うだつのあがらない落語家の愛と葛藤を描いた群像劇。

日時 1月8日(祝) 午後5時～
場所 3階図書館イベントホール
対象者 どなたでも
定員 40人(当日先着順)

読み聞かせ会

絵本などの読み聞かせを行います。

日時 1月13日(土) 午後3時～
場所 3階図書館おはなし広場
朗読者 朗読ボランティアあめんぼ
対象者 幼児、小学校低学年

みんなでブックトーク

テーマ 「日本ってどんな国?」

日時 1月14日(日) 午後2時～
場所 4階図書館グループ学習室
対象者 18歳以上
定員 10人(当日先着順)
申込 1月5日(金)～13日(土)に電話または直接図書館へ。

だっこのおはなし会

0歳からの乳幼児向けおはなし会を行います。

日時 ①1月18日(木) 午前10時30分～
②1月25日(木) 午前10時30分～
場所 ①3階図書館おはなし広場
②古北にじいろ会館 図書・学習室
対象者 乳幼児

耳で楽しむ読書体験!ストーリーテリング

絵本や紙芝居などを使わないおはなし会を行います。

日時 1月20日(土) 午後3時～
場所 3階図書館イベントホール
語り手 ボランティアサークル江南おはなしのろうそく
対象者 5歳から(大人も参加可)

シニアのためのスマホ教室

日時 1月24日(水) ①午後1時～
②午後2時30分～
場所 4階図書館グループ学習室
内容 ①スマホによる電子図書館の利用方法
②スマホによるマイナンバーカードの申請方法
講師 丹羽 睿(シニア情報生活アドバイザー)
定員 各回10人(当日先着順)

クラシック・ミニ・ライブ

バイオリンとクラリネットの二重奏をお子さんと一緒にお楽しみいただけます。

日時 1月27日(土) 午後1時～
場所 3階図書館イベントホール
演奏者 岩水 玲奈(バイオリン)
真野 みどり(クラリネット)
定員 50人(当日先着順)

英語でのおはなし会

英語の絵本の読み聞かせを行います。

日時 1月27日(土) 午後3時30分～
場所 3階図書館おはなし広場
朗読者 江南市国際交流協会会員「ふくらの家」
対象者 幼児、小学生

新年おはなし会

図書館スタッフによるおはなし会、かるた取り大会、福笑いを行います。

日時 1月28日(日) 午前10時～
場所 古北にじいろ会館 多目的室
対象者 幼児・小学校低学年

1月申し込み

オリジナル御朱印帳を作ろう!

好きな布を使って、あなただけの御朱印帳をつくりまします。

日時 2月3日(土) 午前10時～
場所 4階図書館グループ学習室
講師 田中 稔(1級製本技能士)
対象者 18歳以上
参加費 100円(当日集金)
持ち物 はさみ、スティックのり、物差し、筆記用具、表紙に貼る布(35cm×35cm)
定員 5人(抽選。当選者のみはがきを発送します)
申込 1月5日(金)～1月19日(金)に電話または直接図書館へ。

ほっぺてい

賀昇

2024年
1月号

江南市立図書館



あけましておめでと〜ございませう。
昨年四月にオープンした江南市立図書館は、
二年目を迎えます。

無我夢中の初年度を経て、本年はさらなる高みへと
昇ってまいる所存です。

本年も、江南市立図書館を宜しくお願い致します。

図書館長 山本



図書館からのお知らせ

- 年末年始12月29日(金)～1月4日(木)は休館いたします。この期間は学習室も利用できませんので、ご注意ください。
館内整理日のため、1月11日(木)・25日(木)は休館いたします。
※学習室はご利用いただけます。館内整理日のご利用時間は9:30～17:30です。
- 年末年始休館中の返却については、1階エレベーター横及び駐輪場脇、配本サービス箇所(宮田支所、草井支所、古北にじいろ会館)、江南駅に設置のブックポストをご利用ください。4日のみ3階図書館のブックポストもご利用いただけます。
- 本は大切に扱ってくださいますようお願いいたします。破れた時はカウンターにお申し出ください。図書館で修理いたします。
※多くの方にご利用頂くために書き込み・切り取りはしないようお願いいたします。
- DVD等視聴覚資料の取扱いは慎重をお願いいたします。
弁償となった場合は著作権分が市販価格に上乗せとなり、高額となる場合がございます。

一般展示「冬をたのしむ」から本のご紹介



3F 一般展示コーナーでは、お正月や冬を楽しむための本を紹介しています。
この機会に是非手に取ってみてください。



『季節のくだもので つくる焼き菓子』
嶋崎かづこ/著
柴田書店
(596.65/シ)



『雑煮 365日』
松本栄文/著
NHK 出版
(596.21)



『まいにちの鍋』
青山有紀/著
主婦と生活社
(596)



『ハーブティー ブレンドBOOK』
おおそねみちる/著
講談社
(499)

世界のお正月

一年の終わりと新しい年の始まりである「正月」。無数の文化が存在する世界では、正月の過ごし方は日本と同じとは限りません。世界各地の正月にまつわる娯楽や習慣を集めてみました！

カンボジア



一年に三回。日本と同じ西暦に則った一月、旧暦にあわせた二月、最後は四月。なかでも四月は「クメール正月」といわれ、天から女神がおりてくるという伝説があり特別なものとされています。家じゅうを掃除して新しい服を買い、果物やお酒を用意して女神たちの到来に備えます。

スペイン



元旦は一月一日。大晦日は天井の梁からぶどうを何房も吊り下げて新年の準備をします。深夜、新年を告げる鐘の音にあわせて十二粒のぶどうを食べて新年の幸運を祈るのが習慣です。

デンマーク



クリスマスは家族で過ごし、大晦日は家庭を離れ、主に友人とパーティーなどで過ごします。古い皿を割るとより多くの友人に恵まれるとされていることから、友人の家めがけて皿を投げます。家の主は外へ飛び出していき、犯人を捕まえられたら相手にさまざまな菓子を振る舞うのが伝統です。

ウルグアイ



大晦日には古いカレンダーを細く切って窓から紙吹雪のようにまきます。通行人にシャンパンやバケツの水をかける楽しい習慣には新年に向けての清めという意味があります。

中国



旧暦の正月を「春節」とよび、盛大に祝います。日本でも馴染み深い水餃子は春節に欠かせない行事食です。大晦日に家族で餃子を作り、年が明けるところにこれを茹で、お祝いをしながらいただきます。中国では「赤」はおめでたい色とされ、お年玉も赤い袋に入れて渡されます。

タイ



もともとは仏像や仏塔、年長者の手に水をかけて清めるという風習だったのが、タイでは正月が一年で一番暑い時期。次第に町の通行人同士で水をかけ合うようになり、やがて「水かけ祭り」として世界に知られるようになりました。水を浴びることで災いを洗い流し、新たな一年の幸運を祈ります。

ルーマニア
コマネシュティ村の人々は、熊の毛皮を被って村内を練り歩く風習があります。熊が家に来ることは幸運だと考えられており、数多くの熊の毛皮が代々受け継がれています。

<参考文献>
『世界のお正月百科事典』/ウィリアム・D・クランプ 著/終風舎 (R386)
『世界のお祭り百科』/スティーヴ・デイヴィ 著/終風舎 (YR386)
『おもしろ大発見! 世界スゴすぎ事典』/須藤健一 監修/池田書店 (K382オ)
『由来からわかる日本と世界の行事図鑑』/山田慎也 監修/スタジオタッククリエイティブ (K386 1)
『日本と世界の祭り』/小学館 (K386)

裏方日記

「早朝の働き者」の巻

人通りも少ない午前七時頃の一階エントランスホール、黙々と床掃除を続けるロボットがいます。早出した朝、思わず足を止めて見入ってしまいました。何時から働いているんですか？何往復するんですか？尋ねてみても、もちろん無言です。誰も見ていないのに文句も言わずに働く姿を見ていると、徐々に気持ちが入り込んでいきます。丸いライトが大きな目玉に見えてくるころには「頑張っていきましょう！」と声を掛けたくなります。ロボットも「館長も頑張ってるね！」なんて励ましてくれると嬉しいな。みなさんも、早朝にエントランスホールを通りかかることがあったら、やさしく見守ってあげてくださいね。



【スタッフのおすすめ本】



『うしろむき夕食店』
冬森灯/著
ポプラ社
(913/7)

すぐく見つけにくい路地の先に、おみくじが引けるちょっと変わった料理店有り！

すぐく見つけにくい場所にあるため、お客さんつながりでしか説明できないお店《うしろむき夕食店》。そこは祖母と孫の二人で営む料理店だった。訪れたお客さんは悩みを抱えていて…。何気なく「おみくじ」を引いて、それになぞらえた料理を食べると悩みが好転する、というお話。冬森灯さんの作品を読破しました！

